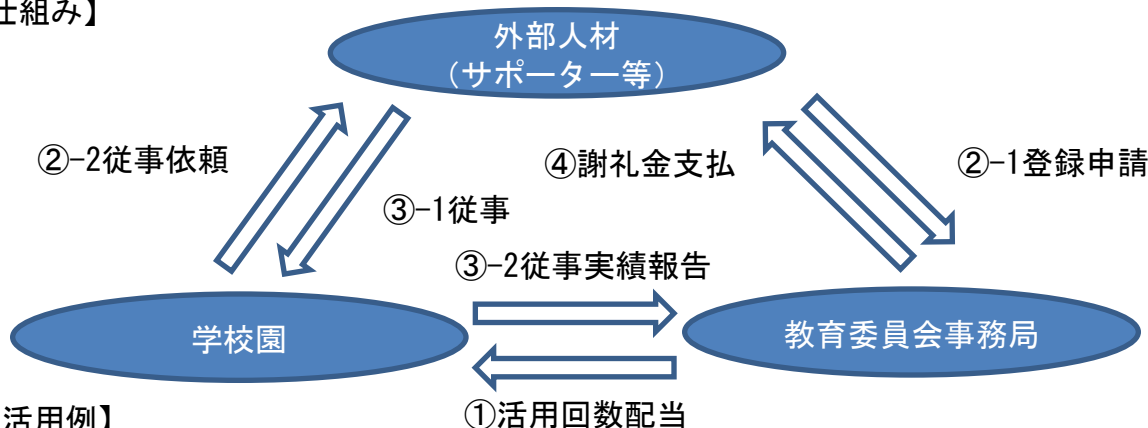


### 【現状の仕組み】



### 【現状の活用例】

校務 データ入力、書類整理、清掃、 電話・来客対応 等	教務 授業準備・補助、学校行事補助、 引率 等	授業補助、生徒指導支援 等
		<p>【支援教育サポーター】 支援が必要な児童生徒への対応</p> <p>【生徒指導アシスタント】 生徒指導の支援等</p>
		<p>【図書館サポーター】 学校図書館の環境整備等</p>
		<p>【教育アシスタント】 教科等の授業補助</p>
<p>【校務・教務サポーター】 校務・教務の支援</p>		

### 効果

- ・ きめ細かな学習支援、生徒指導等支援の充実
- ・ 教員の負担軽減

外部人材  
(サポーター等)

### 課題

- ・ 必要とする外部人材（サポーター等）を十分に確保できていない学校園がある。
- ・ 人材確保に向けた事務手続きや活用に係る連絡調整が学校管理職の負担となっている。

### 《課題改善に向けて》

#### ■職員室で行う教員の事務負担の一層の軽減をめざす

⇒学校園のニーズにあった多様な人材をどのように確保するか。

⇒人材確保に向けた事務手続き等を軽減するために、効率的・効果的な手法としてどのようなことが考えられるか。